



FT技 第32002号C

ケーブル貫通部防火措置工法
「新ニジカン-床」施工要領書

国土交通大臣認定 PS060FL-9069
旧 BCJ-防災-289評定

古河電気工業株式会社
株式会社古河テクノマテリアル

BCJ－防災－289 新ニジカン－床 施工要領書

開口部断面積 0.6 m² 以下・床用

1. 使用材料

ケイカライト－MG（耐火仕切板）
ダンシールーP（耐熱シール材）
ロックファインファイバー（耐火充填材）
アンカーボルト（M6）

2. 使用工具

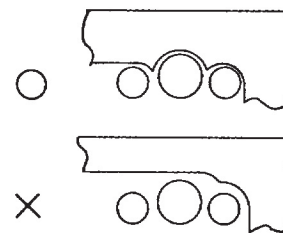
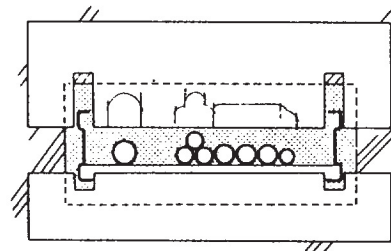
ジグソー（刃は、木工用または新建材用）
震動ドリル（キリのサイズは、コンクリート用6.5mmφ）
ハンマー
スケール
スパナ
ナイフ

3. 施工手順（床厚は140mm以上）

（1）ケイカライト－MG の切断・加工（両側分）

ケーブル、ケーブルラックの型取りを行い、それに合わせてケイカライト－MGの切断・加工を行います。（梱包用ダンボール紙等を型紙として利用すると、正確に寸法取りができ、後工程が楽になります。）

- * ケーブル、ケーブルラック周りの切り込みは、大きすぎない様に注意して下さい。（型取りよりも10～15mm程度大きめに切り込んで下さい。）
- * ケーブルラックの子桁上面を基準にケイカライト－MGを分割すると作業が楽になります。



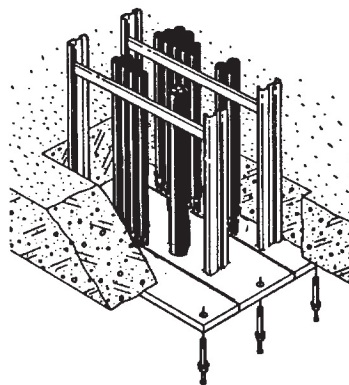
（2）補助枠材の切断・加工 （床厚が140mm未満の場合）

床厚が140mm以上になるようケイカライト－MGの床面重ね巾（50mm以上）と同一巾で開口部周囲長分、ケイカライト－MGを切断・加工します。

(3) 下部ケイカライトーMGの固定

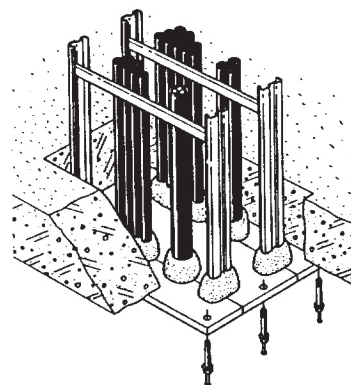
位置決めをした後、ケイカライトーMGの上から震動ドリルで穴をあけ、アンカーボルト(M6)で床下面に固定します。

- * 床下面が平滑でない場合は、床下面とケイカライトーMG間にダンシールーPをはさみ込んで下さい。
- * 震動ドリルのサイズは6.5mmφを使用して下さい。



(4) 下部ダンシールーPの盛り上げ

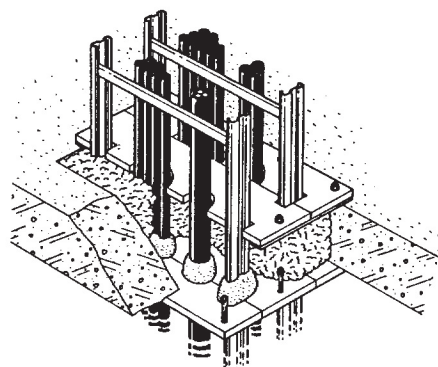
- ① ケーブル、ケーブルラック周りのゴミや汚れを十分に落とします。
 - ② ケーブル、ケーブルラックの外周にダンシールーPを高さ75mm以上の円錐台状になるよう盛り上げます。
- * 初めにケーブル相互の隙間に少量埋め込んでおくとやりやすく、綺麗な仕上がりになります。



(5) ロックファインファイバーの充填

片側のケイカライトーMGを固定した後、床厚の隙間にロックファインファイバーを250kg/m³以上の密度(きっちり押し込んだ状態)に詰め込みます。

- * 補助枠を用いる場合は床面に仮固定し、その上面までロックファインファイバーを詰め込みます。



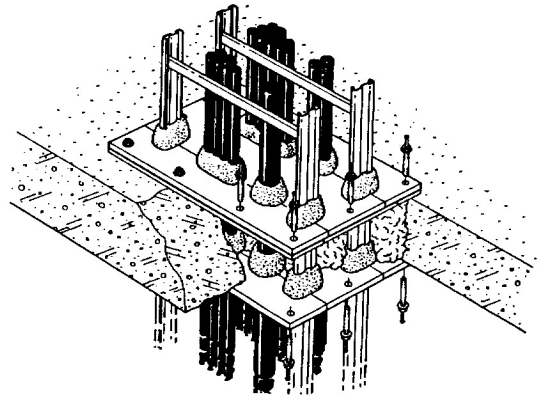
(6) 上部ケイカライトーMGの固定

(3) 項と同様にケイカライトーMGを床面より固定します。

- * 床厚が140mm未満の場合は補助枠材を同時に固定します。

(7) 上部ダンシールー P の盛り上げ

(4) 項と同様によくもんで一体化させながら、ケーブル、ケーブルラックの外周にダンシールー P を高さ50mm以上の円錐台状になるよう盛り上げます。



(8) 完了

最終仕上がり寸法を確認して完了です。